

ドリーからの車輛のおろし方

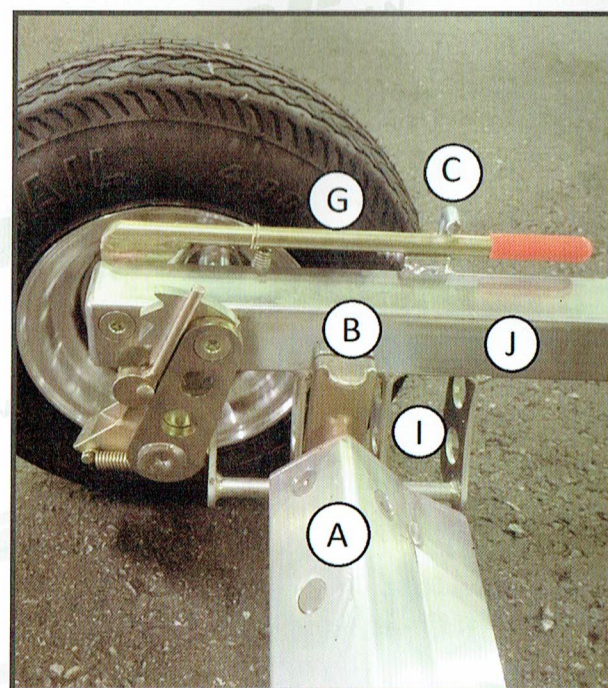
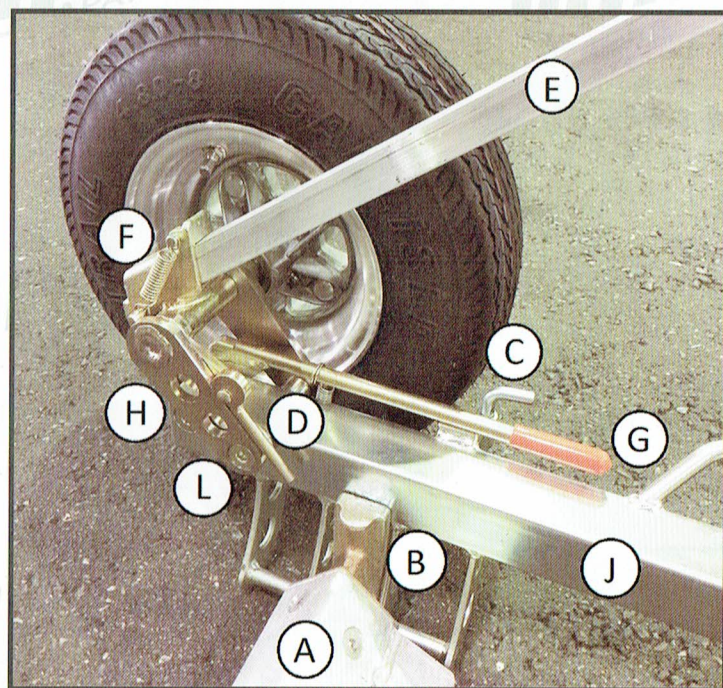
1. ドリーストラップ (M) を取り外し、セーフティラチェットを (D) を解除します。
2. トリップハンドル (G) のセーフティロック (C) を解除します。
3. プライバーポケット (F) にプライバー (E) を挿入します。
4. 一方の手をトリップハンドル (G) に置きながら、片手でプライバー (E) を握って下さい。
5. トリップハンドルのロック部 (L) がスピンドルアッシー (H) をかわすように、トリップハンドル (G) をゆっくり持ち上げます。
6. トリップハンドルのロック部 (L) がスピンドルアッシー (H) をかわしたら、トリップハンドル (G) を離して、プライバー (E) を両手でしっかり握り、外端方向へ力をかけて下さい。
7. 徐々にプライバーを回転させ、ドリー本体の片側を地面まで下ろします。
8. 以上の作業を、他の 3 箇所を繰り返します。

安全上の注意

ドリーからの車輛を降ろす作業では、作業員へプライバーから大きな負荷がかかります。作業員はプライバーが押し返す力に十分対応できる姿勢をとり、作業を行って下さい。

安全上に関する警告！

プライバーを使わずトリップロックハンドルの操作だけで一気に降ろす方法は、装置や車輛に損傷を与えるだけでなく、人身事故に繋がる危険があります。絶対に行わないで下さい。



ドリーを安全に使用するための重要事項

セーフティロックを解除せずにプライバーを使用して搭載作業を行うと、ハンドルが曲がり、ロック部の角度が変化してしまいます(下図 赤枠参照)。その状態でドリーで車輛を牽引すると、牽引中にロックが外れ、大事故につながる可能性があります。必ずセーフティロックを外して、搭載作業を行って下さい。

ハンドルが曲がってしまった際の対処法

曲がったハンドルを真っ直ぐに戻すためには、トリップスプリングを取り外し、丸パイプをハンドルに被せ、ハンドルが真っ直ぐになるまで持ち上げて、ロック部の先端がスピンドルの頂点に来るようにします(下図 緑枠参照)。その後、トリップスプリングを取り付け直せば、ドリーは使用可能です。

※写真は旧型の SLX ドリーです。

